

地元ミカン  
チャリティー販売  
JAえひめ中央  
城北支所が児童と  
「愛媛・ちゅうお  
ろ」JAえひめ中央城  
北支所は18日、松山市

立潮見小学校の代表児童2人と松山市役所を訪れ、能登半島地震による被災者の生活支援に役立ててもらおうと、同支所が2月下旬に開いた「城北地区みかんまつり」での「地元みかんのチャリティー販売」の売上金10万5800円を寄付した。

このチャリティー販売は、地元農産物に親しみ、慈善活動につい



松山市役所の「能登半島地震災害義援金募金箱」の前で義援金を寄付する小学生（松山市で）

て児童に学んでもらおうと、同支所と同校が協力して行ってきた。地元の農家から提供された伊予カンや「せとか」などを児童と販売し、「能登半島地震災害被災者の支援に役立ててほしい」と、来場者の購入により義援金が集まった。

義援金を受け取った同市役所市民生活課の木山聡江課長は「松山市役所では、お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて被災地へ届けている。ご協力に感謝する」と述べた。

城北地区の農家でもある同JAの門屋誠経営管理委員は「地元の農家が提供したかんきつが、復興に役立てて頂けるのがうれしい」と話した。